

学校生活について

愛知県立半田高等学校附属中学校

- ★ 学校説明会の中では説明しきれないことが想定されるため、資料としてまとめました。内容は、現在の学校生活のこと、次年度以降に向けて構想していることを、事前にご質問いただいた内容も踏まえ掲載しております。
- ★ 半田附属中は、日々教育活動について目標・目的と照らし合わせながら教員で話し合ったり、生徒からのアイデアをもとに活動したりしている学校です。個々に掲載されている内容が、入学前、在学中に変更となることは大いに考えられます。

I 校章・制服等について

○ 校章・校歌

高校・附属中の一体感を大切にするため、同一のものです。

○ 制服

高校・附属中の一体感を大切にする、また家庭の負担を軽減するため、6年間同一のものを着用できます。

学校指定の制服は「スーツ」「学生服（詰襟）」「セーラー服」の3つあり、自由に選択できます。



○ 体育時の服装

高校が令和7年度入学生から、学校指定の物品ではなく「運動に適した服装」であればよい形になりました。附属中も、同様に「運動に適した服装」であればよいです。

なお、附属中は「体育館シューズ」の指定もありません。高校入学時に、指定の「体育館シューズ」（中学時には推奨品として紹介しています）、「名前入りビブス」の購入があります。



○ 校内の履き物

附属中は、学校指定の物品ではなく、防災の観点からかかとのある履き物で、体育館シューズと別のものを自由に用意してもらっています。高校入学時に、「指定スリッパ」（中学時には推奨品として紹介しています）の購入があります。

2 生徒指導・生徒支援について

★「生徒指導・生徒支援」の中で大切にしていること

- ・ 安心感のある環境の中で、生徒の主体性と当事者意識を育てます
- ・ 半田高校が開校以来大切にしている、「自学・自治・自鍛」・「自主自律」の精神を大切にします

○ 学校のきまり（校則）

生徒の主体性、自主自立の精神を大切にし、中学生が発達段階であることや安全に配慮する項目（例えば、最終下校時刻が早い、アルバイトをできない、自動車学校へ通うことができない）を除けば、高校と同じきまりです（現在、附属中のきまりを整理しています。高校のきまりは[高校 Web ページ](#)（PDF ファイル）から確認いただけます）。一般的な公立中学校よりもきまりは少ないイメージでいただければと思います。

○ チーム担任制（全員担任制）

クラスに決まった担任の先生がいるのではなく、附属中の職員全員が担任です。定期的に担任が替わります（令和7年度は、1週間ごとだったり、毎日だったり、替わり方を模索しています）。これにより、教員全員で一人ひとりの生徒を見守ることができたり、自分のクラスは自分たちで創るということができたりすることを期待しています。

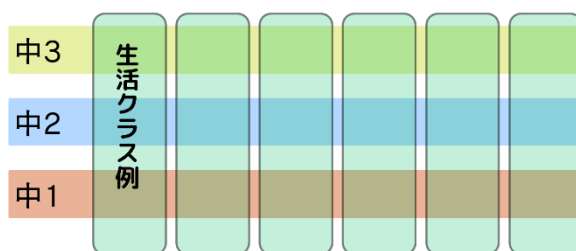
また、年間複数回、生徒と先生、または生徒と保護者の方と先生の面談を行っています。このときの先生は、生徒や保護者の方の希望を優先して実施しています。

○ 授業クラスと生活クラス【構想中】

附属中は、1学年2クラス（80名）で、密な人間関係になりやすいですが、学年だけだと関われる数が限られてしまいます。

授業は、学年ごとに取り組む内容が異なるため、学年を2つに分けた「授業クラス」で受けることになります。

一方、学年ごとでなくてもよい、朝や帰り、給食、清掃、また特別の教科「道徳」やLT（学級活動）の時間は、基本的に附属中3学年を混ぜ6つに分けた「生活クラス」で送ることを、令和8年度から開始できないか構想しています。これにより、生徒同士で自分たちの学校を自分たちで創ることができたりすることを期待しています。「生活クラス」単位で、日常の生活だけでなく、「遠足」や「柊輪祭（学校祭）での出し物」等ができないかも、今後生徒と相談し、検討していきます。



イメージ図: いわゆる縦割りクラスを取り入れた生活クラス

○ 学年ごとの行事

附属中では、第2学年9～10月に2泊3日で「野外活動」（滋賀方面）、第3学年2月頃に1週間程度で「海外研修」（オーストラリア・メルボルン方面）を実施します。
なお、生徒・教員発案で、この他にも行事を行う可能性はあります。

・ 野外活動

歴史、地形・環境、文化・産業など、様々な視点で魅力のある「滋賀県」を、教員主体ではなく、生徒実行委員主体で毎年旅行プランを作成する予定です。

総合的な学習の時間「マイプロジェクト」や教科の授業と関連させ、生徒の興味にあわせた課題学習が行える選択フィールドワークを取り入れます。また、日常と異なる生活環境の中で、自然に対する畏敬の念を感じたり、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについて体験を通して学んだりします。

・ 海外研修

海外研修を通して、少数派の立場を肌感覚で感じさせたり、多様な価値観に直接ふれさせることで、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについて体験を通して学んだりします。また、物怖じしない態度を身につけます。

○ スクールカウンセラー等の心の支援

附属中のスクールカウンセラー派遣は、令和8年度は毎週1日・1日あたり4時間、中学3学年が揃う令和9年度以降は毎週1日・1日あたり6時間の予定です。

また、相談室を使って、いつでも附属中の先生に相談することができます。

○ 生徒支援のためのオンラインツール活用

本年度は、主に2つのツールを導入し、生徒の主体性、当事者意識の育成の支援を行っています。

・ Classi（ベネッセコーポレーション）

先生と生徒、先生と保護者、生徒同士での連絡ツールとして、活用しています。主に、学校からのお知らせの一斉配信、アンケートや提出物をオンライン上で回答・回収、欠席連絡、生徒・保護者の方からの個別連絡等の機能を活用しています。

・ EdvPath（EdvFuture）

教科のテストで測ることのできる能力（学力）とはことなり、測りにくい「自己理解」、「モチベーション」、「コミュニケーション能力」、「自分自身の行動や感情の理由を客観的に理解する能力」、「やり抜く力」といった「非認知能力」の測定を定期的に行っています。

生活を振り返り、何が変わり、今後の生活をどのようにするのがよいのか、自分自身の状態を「ミエル化」できます。また、先生からその結果も踏まえながら、生徒支援を行っています。

3 1日の生活について

○ 中学3年間の生活

右のように、授業は50分授業、1日あたり6時間（月曜のみ7時間）です。

最終下校時刻は、夏季（3月初め～前期終業式）が17:05、冬季（後期始業式～2月末）が16:35です。

※ 高校では、授業は65分授業、1日あたり5時間（月曜のみ50分のLTがそのあとにあり）です。

時間	時限	月	火	水	木	金
8:40～8:50	ST					
8:50～9:40	1限	道	国	数	英	理
9:50～10:40	2限	数	理	英	音	社
10:50～11:40	3限	国	家	理	音/美	英
11:50～12:40	4限	保体	社	国	美	数
12:40～13:35	給食・昼休み					
13:35～14:25	5限	技	数	保体	総	国
14:35～15:25	6限	理	英	社	総	保体
15:25～15:45	ST・清掃					
15:35～16:25	7限	LT				

○ 通学方法

- ・ 徒歩
- ・ 自転車

学校から1kmより離れている場合に、学校へ届け出てください。附属中の前にある駐輪場へ自転車を止めます。

- ・ 電車

名鉄河和線「住吉町駅」から徒歩、またはJR武豊線「半田駅」から自転車が多いです。

※ 周辺道路が狭いこと、周辺に小中高が多くあることから、安全のため自家用車での送迎を禁じています。（怪我等の場合は除く）

○ 学習支援ツール

- ・ タブレット端末

中学3年間、愛知県より端末を貸し出します。次年度も、OSはWindows、Officeのアプリが利用できる予定です。

※ 高校進学時には、端末の購入をお願いすることになります。（令和8年度高校1年生から）

※ 学校から、Microsoft アカウント、Google アカウントを発行しています。

- ・ Classi Note（コードタクト）

オンライン上のノート・ワークシートで、個人やグループで作業をしたり、お互いの様子を見合ったり、先生に提出したり返却をしてもらったりできる学習支援ツールです。



- ・ **スタディサプリ（リクルート）**

小学校から高校までの、いろいろな教科の学習を、「映像授業とオンラインテキスト」、「オンラインドリル」、「オンラインテスト」を使って、自分の好きなペースで好きなことを学習できます。

特に、附属中では、教科書に対応したのものを使った宿題配信、節目ごとのテスト配信などで活用しています。

- ・ **ジャパンナレッジ School（Net Advance）**

オンライン上で、辞典や事典、いろいろな教科の学習図書（中高生向け、一部大学生向け）、新書本（中高生向け、一般向け）を読むことができるツールです。教科の学習や総合的な学習の時間に活用しています。

- ・ **GPS-Academic 中高版（ベネッセコーポレーション）**

「思考力」がどの程度ついているのかミエル化することができるツールです。教科の枠を超えた問題を１時間程度解き、すぐに結果のフィードバックを得られます。中高６年間継続して、１年に１回受検します。

○ 給食

半田市学校給食センターより、半田市立中学校と同じ給食の提供を受けています。令和６年９月より、新給食センターからの供給となり、はし・スプーンの提供、アレルギー給食の対応幅が広がる等の変更がありました。

給食当番による配膳を行います。当番の生徒のみなさんには、エプロン・三角巾等を用意してもらっています。



○ 部活動

附属中には、中学独自で設置した部活動はありません。高校の部活動のうち、中学生を受け入れてもよいと回答してくれたところに、希望生徒は１つ所属します。（加入率 81.3%）

目的は、中高生の枠を超えて同好の生徒が自主的・自発的に集い、活動することで、中学生にとっては、人間関係の大切さやコミュニケーションスキル、組織の運営方法などを高校生の姿や行動から具体的に学ぶことです。そのため、原則として大会参加はなく、中小学校体育連盟への加盟等も行っていません。

（令和７年度）

下記の部活動が受け入れてられています。活動は、授業期間中は平日火・水・金の業後です。

運動部 剣道、バスケットボール、ハンドボール、テニス（硬式）、卓球

文化部 英会話、箏曲、吹奏楽、放送、ダンス （運動部はすべて、男女とも）

4 進路指導・キャリア教育

★「進路指導・キャリア教育」の中で大切にしていること

- ・ 様々な職業の方との関わり、半田高校の卒業生との関わり、科学者の方との関わりなどを大切にし、「自分の将来像」をつかみ、「その実現に向けた道筋を立てること」、そしてその道筋に向け「高い志を掲げ、第一志望を貫く」進路指導を6年間かけて取り組んでいます。

○ いろいろな行事計画

・ 様々な職業の方との関わり

総合的な学習の時間を中心に外部講師を講師とした講演会、高校と合同で起業家の方等を講師としたチェンジメーカーセミナー等を行っています。

・ 半田高校の卒業生との関わり

アントレプレナーシップ講演会（高校卒業30周年を迎えた学年から、社会で活躍されている方が講師）、弁護士や検察官・裁判官といった「法曹界」で活躍される卒業生と交流する裁判所見学や法曹と語る会などを行っています。

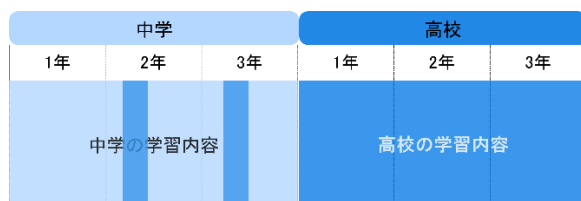
・ 科学者の方との関わり

高校が国から指定を受けている、科学技術系人材の育成のための取り組み「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業」の一部を通し、大学等で研究されている方を講師としたサイエンスコミュニケーション、知多地区の自治体や企業、高校大学等の研究機関が参加する「知多地区探究ネット」を活用した授業などを行っています。

○ 高校の進路指導行事、進路結果

[高校 Web サイト](#)をご覧ください。

学校説明会の学習についての中にも説明がありますが、数学や英語などで大学受験に向けた先取り学習をすることはありません（下図のように、探究学習のために全員を対象、または一部の生徒が先取り学習をすることはあります）。



発展的な学習として関連した単元等で取り上げる。
マイプロジェクトに必要な高度な学習をする。



高度な学習を求めている生徒に蓋をしない。
個別に高度な内容を自主的に学ぶことのサポート

5 中高連携

★「中高連携」で大切にしたいと考えていること

- ・ 中高6年間で連続し、かつ効果的な教育の場となるよう、学習環境、生活環境を考えていきます。

○ 学校行事

次のような行事を中心に、高校生と交流する機会を設けています。

(令和7年度の例)

・ 儀式

入学式、対面式（4月）

・ 訓練、講演会

防災・防犯避難訓練（4月、9月）、防災講話（10月）、人権講話（12月）

・ SSH関係（詳細は[高校 Web サイト](#)をご覧ください）

SSH 生徒成果発表会（5月）、

サイエンスコミュニケーション（7・12・3月）、

チェンジメーカーセミナー（7・12月）、生徒探究発表会（8月）、

合同探究発表会（3月）

・ 同窓会関係

アントレプレナーシップ講演会（5月）、裁判所見学（7月）、

法曹と語る会（11月）

・ 学校祭

…高校「ひいらぎ祭」4日間のうち、3日間（「文化アピール・文化講演」、「校内公開」、「一般公開」）。4日間すべてではないこと、特に「校内公開」、「一般公開」で中学生自身の自治をするため、附属中では「柊輪祭」として同日開催）

※ 令和7年9月13日（土）の一般公開へぜひご参加ください！

詳細、事前申込は[高校実行委員会 Web サイト](#)からお願いします。

○ 学習環境

教科指導について、中学・高校教員で、授業研修や教科会を合同で行う中で、今後高校との接続体制を整えます。

6 PTA 活動【保護者の方向け】

○ PTA の組織

附属中では、令和7年度は組織をしていません。今後、教員、保護者の方からの要望等があれば、設置を検討します。

なお、高校進学時に、高校 PTA への加盟をお願いしています。

○ 保護者と一緒に学校創りをする機会

令和7年度は、附属中で授業公開・保護者懇談会を5月、8月に実施します。午後の保護者懇談会では、「家庭での様子」や「学習について」の座談会を通して、保護者の方と教員の目線合わせを行っています。

また、中高合同で10月に公開授業週間（校外公開）を行います。

7 保護者の負担額【保護者の方向け】

○ 学校徴収金

学校の教育活動で必要となる費用を、次の4つの会計で徴収しています。

令和7年度は年間12万円弱を、年3回に分けて徴収しています。

・ 給食費会計

個人負担となる食材費相当額について学校単位で集約し、半田市に支払う費用（令和7年度は1食につき350円）

・ 生徒会会計

生徒会の諸活動に要する費用（主に柊輪祭）

（費用の例）校外の会場使用料、ゴミ処理代、ポスター印刷代、企画準備

・ 教育振興会計

当該年度の教育計画に基づく学校単位の教育活動を実施するために要する費用

（費用の例）医薬品・給食用消毒液等、雑誌・新聞・図書広報物等

・ 学年費

当該年度の教育計画に基づく学年単位の教育活動を実施するために要する費用

本資料3～4ページにあるように、さまざまなサービスを利用するため、こちらの金額が一般的な公立中学校よりも高くなっています

（費用の例：令和7年度1年生）

個人毎の物品購入費 …校章バッジ、身分証明カード、学級写真、歯鏡

〃のサービス利用料 …オンライン図書館サービス、学習支援サービス、学校からの連絡支援サービス

各種負担金 …日本スポーツ振興センター共済掛金

教材費・実習費 …9教科＋総合・道徳

○ 旅行積立金

旅行社（日本旅行）に対して、次の2つの宿泊行事の旅行費用を支払います。一括支払の他、希望されたご家庭には第1学年の途中から積立をすることも可能です。

・ 野外活動（第2学年） 令和7年度入学生は5万円

・ 海外研修（第3学年） 令和7年度入学生は40万円

○ 就学援助制度

経済的な理由により、お子様を就学させることにお困りの方に対し、学用品費、医療費、学校給食費などを援助する制度です。援助内容や対象者は市町村ごとに異なります。申請手続や申請時期等の詳細は、お住まいの市町村教育委員会にお問い合わせください。なお、就学援助制度は、年度ごとに申請が必要です。